

令和4年度埼玉県農業再生協議会事業報告

1 経営所得安定対策推進事業に関すること

(1) 経営所得安定対策の普及推進活動

経営所得安定対策、ナラシ対策、収入保険への加入推進の普及広報資料を作成し、地域農業再生協議会等へ配布した。農業者に対して各対策の内容、経営試算等を周知し本対策の普及推進を図った。

(2) 需要に応じた作物の生産方針等の策定

令和5年産米の埼玉県の「生産の目安」を策定し、さらに、地域農業再生協議会別の「生産の目安」を提示した。

また、水田を有効活用するための令和4年度埼玉県水田農業作付ビジョンを作成した。

(3) 産地交付金の要件の検討

水田活用の直接支払交付金における水田収益力強化ビジョン（産地交付金の助成内容）について意見具申した。

(4) その他

その他、経営所得安定対策の円滑な実施に必要な活動を実施した。

2 需要に応じた米生産の推進に関すること

(1) 令和4年産米の需要に応じた生産の推進

令和4年産米の「生産の目安」の算定にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けた特殊な状況下で全国的に民間在庫が大幅な過剰となっていたことから、国からの要請もあり、「平成30年産以降の米政策の見直しに係る基本方針」（平成29年5月8日県農業再生協議会策定、以下基本方針）の算定方法によらず、県の在庫状況を勘案して「生産の目安」を設定した。

この「生産の目安」や地域農業再生協議会別の「生産の目安」を目標に、地域巡回を通じて飼料用米、米粉用米の作付や、麦、大豆等への転換を推進した。

令和4年10月26日に水田での子実用とうもろこし栽培を普及するため、実証ほ場の現地検討会を実施した。

(2) 令和5年産米の埼玉県の「生産の目安」の策定

令和4年12月23日に開催した県農業再生協議会臨時総会において、令和5年産米の埼玉県の「生産の目安」（案）と、地域農業再生協議会別の「生産の目安」（案）を承認し、地域農業再生協議会等に提示した。

令和5年産の「生産の目安」については、国の「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、令和5年産主食用米等の生産量の見通しが令和4年産米作付実績と同水準の作付面積とされたこと、また米価については依然として回復の途上であることから、県の「基本方針」の算定方法によらず、令和4年産米の「生産の目安」と同水準の生産数量として設定した。

令和5年1月13日に開催した「令和4年度地域農業再生協議会等担当者会議」において、円滑に需給調整を推進するために「生産の目安」を生産者まで提

示すよう協力を呼びかけた。

令和5年3月に需要に応じた米生産を推進する普及広報資料を作成し、地域農業再生協議会等へ配布した。

(3) 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業の推進

実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組を支援するため、新市場開拓に向けた水田リノベーション事業を推進し、新市場開拓用米、加工用米、麦（加工向け）、大豆（加工向け）及び高収益作物（キャベツ、さつまいも）における低コスト生産等に取り組む農業者を支援した。

3 水田農業高収益化等の検討について

令和4年度通常総会において、埼玉県、JA全農さいたま、JA埼玉県中央会で構成する「水田農業高収益化等検討チーム」を設置することとし、水稻から麦・大豆・野菜など定着性の高い作物への転換を含め、中・長期的視点で水田農業の高収益化等について検討を行った。